



## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社アソインターナショナル 上場取引所 東  
 コード番号 9340 URL <http://www.aso-inter.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿曾 敏正  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部長 (氏名) 詫麻 礼久 TEL 03(3547)0479  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	2,366	—	313	—	274	—	216	—
2022年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 215百万円 (—%) 2022年6月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	50.15	48.88
2022年6月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2022年6月期第3四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年6月期第3四半期の数値及び2023年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、2022年7月25日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は2022年12月23日に東京証券取引所スタンダード市場に上場したため、2023年6月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2023年6月期第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	2,625	2,343	89.3
2022年6月期	2,193	1,552	70.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 2,343百万円 2022年6月期 1,552百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	26.25	26.25
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,262	4.7	528	3.3	486	△6.2	335	△4.6	75.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	4,850,000株	2022年6月期	4,000,000株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	一株	2022年6月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	4,307,117株	2022年6月期3Q	一株

（注）1. 2022年7月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、「発行済株式数（普通株式）」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 当社は、2022年6月期第3四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年6月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大と収束を繰り返す中、水際対策や行動制限は緩和され、経済活動は徐々に正常化への動きがみられました。しかし、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や急激な円安の進行等により、原材料価格の高騰によるインフレ圧力など、我が国の経済を取り巻く状況は引き続き厳しく、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当第3四半期連結累計期間では、矯正歯科技工物の価値向上や品質などを強化するとともに、歯科医療機関に対して、高品質かつ用途や目的にあった適切な歯科矯正技工物を提供できる当社グループの強みを活かして継続的な営業活動に注力し、引き続き顧客満足度の向上に取り組みました。また、当社グループに与える新型コロナウイルス感染症の影響は、蔓延初期段階においては歯科医療機関による一時休診等により、矯正歯科技工物の受注が大きく減少する影響はあったものの、その後は回復し、現在は軽微な影響にとどまっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,366,300千円、営業利益313,347千円、経常利益274,810千円、親会社株主に帰属する四半期純利益216,004千円となりました。

当社グループの事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

## (売上高、売上原価、売上総利益)

既存の歯科医療機関からの追加受注及び新規の歯科医療機関の獲得もあり、矯正歯科技工物の受注が順調に積みあがったことにより、売上高は2,366,300千円となりました。

売上原価は主に商品収入、材料仕入、歯科技工士の労務費及び外注加工費を計上し、1,326,851千円となりました。

この結果、売上総利益は1,039,449千円となりました。

## (販売費及び一般管理費、営業利益)

販売費及び一般管理費は、726,101千円となりました。これは主に、営業部門や管理部門の人員の給料及び手当255,993千円、運賃及び荷造費87,285千円を計上したことによるものであります。

この結果、営業利益は313,347千円となりました。

## (営業外収益、営業外費用、経常利益)

営業外収益については、受取地代家賃3,686千円及び受取手数料2,257千円等により7,109千円となりました。

営業外費用については、為替差損18,284千円及び上場関連費用21,656千円等により45,645千円となりました。

この結果、経常利益は274,810千円となりました。

## (特別利益、特別損失、法人税等合計、親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別利益は受取賠償金10,500千円及び保険転換差益38,725千円により49,225千円となりました。

特別損失の計上はありませんでした。

法人税等合計108,031千円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は216,004千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して432,094千円増加し、2,625,191千円となりました。これは主に、新規上場時の公募増資により現金及び預金が323,065千円、事業拡大により原材料が23,048千円、保険契約の見直しにより保険積立金が51,329千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して358,595千円減少し、281,570千円となりました。これは主に、財務体質の強化のための借入金の返済により短期借入金が200,000千円、長期借入金が100,000千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して790,689千円増加し、2,343,620千円となりました。これは主に、当社株式の東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う公募増資による資本金の増加340,170千円及び資本剰余金の増加340,170千円、親会社株主に帰属する四半期純利益216,004千円を計上し

た一方で、剰余金の配当105,000千円の支払により、利益剰余金が111,004千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は89.3%（前連結会計年度末は70.8%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、当社新規上場に伴って開示いたしました「東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,292,077	1,615,143
売掛金	346,280	353,984
商品及び製品	47,616	62,381
仕掛品	2,846	1,900
原材料	72,559	95,607
その他	55,108	43,602
貸倒引当金	△6,917	△6,018
流動資産合計	1,809,571	2,166,600
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	31,403	37,303
機械装置及び運搬具（純額）	67,281	57,244
その他（純額）	12,843	9,723
有形固定資産合計	111,528	104,271
無形固定資産		
ソフトウェア	20,753	17,021
ソフトウェア仮勘定	—	40,150
無形固定資産合計	20,753	57,171
投資その他の資産		
投資有価証券	40,896	40,311
保険積立金	127,995	179,325
繰延税金資産	13,088	9,553
その他	70,500	69,864
貸倒引当金	△1,238	△1,906
投資その他の資産合計	251,242	297,148
固定資産合計	383,525	458,590
資産合計	2,193,097	2,625,191
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	124,522	117,276
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	65	—
未払金	49,609	48,577
未払法人税等	56,526	34,094
資産除去債務	—	1,699
賞与引当金	—	3,950
その他	75,029	59,001
流動負債合計	505,752	264,600
固定負債		
長期借入金	100,000	—
資産除去債務	18,609	16,969
繰延税金負債	347	—
その他	15,455	—
固定負債合計	134,413	16,969
負債合計	640,166	281,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	350,170
資本剰余金	—	340,170
利益剰余金	1,555,739	1,666,743
株主資本合計	1,565,739	2,357,083
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,967	2,561
為替換算調整勘定	△15,775	△16,024
その他の包括利益累計額合計	△12,808	△13,463
純資産合計	1,552,931	2,343,620
負債純資産合計	2,193,097	2,625,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,366,300
売上原価	1,326,851
売上総利益	1,039,449
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	255,993
役員報酬	56,343
運賃及び荷造費	87,285
貸倒引当金繰入額	536
賞与引当金繰入額	2,075
その他	323,868
販売費及び一般管理費合計	726,101
営業利益	313,347
営業外収益	
受取利息及び配当金	126
受取地代家賃	3,686
受取手数料	2,257
貸倒引当金戻入額	855
その他	184
営業外収益合計	7,109
営業外費用	
支払利息	523
為替差損	18,284
支払手数料	4,493
上場関連費用	21,656
その他	687
営業外費用合計	45,645
経常利益	274,810
特別利益	
受取賠償金	10,500
保険転換差益	38,725
特別利益合計	49,225
税金等調整前四半期純利益	324,036
法人税、住民税及び事業税	104,665
法人税等調整額	3,366
法人税等合計	108,031
四半期純利益	216,004
親会社株主に帰属する四半期純利益	216,004



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	216,004
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△405
為替換算調整勘定	△248
その他の包括利益合計	△654
四半期包括利益	215,349
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	215,349
非支配株主に係る四半期包括利益	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は2022年12月23日付で東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年12月22日を払込期日とする公募増資（ブックビルディング方式による募集）により新株式850,000株を発行し、資本金及び資本剰余金はそれぞれ340,170千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が350,170千円、資本剰余金が340,170千円となっております。

（会計方針の変更）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自2022年7月1日 至2023年3月31日）

当社グループは、「歯科矯正事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。